

# 平成 29 年度 釧路管内地域いじめ問題等対策連絡協議会だより

発行：釧路管内地域いじめ問題等対策連絡協議会事務局（釧路教育局）

平成30年2月8日（木）、関係機関と連携し、地域におけるいじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題への対策の推進を図ることを目的に、学校やPTA、各関係機関の代表者に集まっていたいただき、第2回釧路管内地域いじめ問題等対策連絡協議会を開催しました。



説明：「いじめ、不登校」等に関する児童生徒の実態、北海道いじめ防止基本方針について

事務局（釧路教育局）から「平成28年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果、「不登校児童生徒への対応状況等に関する調査」結果、「北海道いじめ防止基本方針」改定素案の概要について説明しました。

協議 1：「釧路管内いじめ・不登校未然防止強調月間における各学校及び各関係機関の取組内容について」

## 【校長会及び学校の取組】

- ・強調月間において「全校朝会での校長講話」や「情報端末機器に関する保護者アンケート」「学校いじめ防止基本方針の見直し」などが行われた。
- ・高等学校では、ピア・サポート研修会を5校で実施した。
- ・「学校いじめ防止基本方針」について、生徒会役員やPTA 役員の意見も踏まえて各学校において見直しを図った。

## 【関係機関から学校及び教育委員会の取組に対する意見】

- ・各学校や各教育委員会の取組は、今後も継続するとともに、学校間で共有してほしい。
- ・いじめ問題に対しては丁寧に対応してほしい。
- ・生徒の主体的な活動がいじめをなくすことにつながっていくと考えている。

## 【市町村教育委員会の取組】

- ・小規模校の児童が不安なく中学校に入学できるよう、同じ中学校区の小学校で交流会を実施した。
- ・情報端末機器に関するアンケート調査を実施し、多くの課題が明らかとなった。
- ・「くしろの子ども大集合」を開催し、学校紹介やパネリストによる討論会などを行い、パネリストと会場の討論も行った。課題としては、一般市民の参加を募り、世代間の連携を深めていくことであり、連合町内会との連携を図っていきたいと考えている。

協議 2：「今年度の重点に関わって、各市町村教育委員会や各関係機関の成果や課題等について」「次年度の方向性について」

## 【学校の取組】

- ・児童生徒の主体的な取組がマンネリ化し、年間を通じた取組となっていない。
- ・家庭や地域、関係機関との連携が弱い。

## 【市町村教育委員会の取組】

- ・子ども会議については、実践発表が中心であり、各学校、保護者や地域へ普及・還元するに至っていない。

## 【家庭・地域の取組】

- ・いじめや情報端末機器に関わる資料を作成し、周知している。
- ・各家庭や地域によって温度差があることから、粘り強い取組が必要である。

## 【関係機関の取組】

- ・児童生徒が社会教育に参加する機会の充実を図っている。
- ・人権に係る取組を各学校に働きかけている。
- ・各関係機関がそれぞれ取組を実施しているものの、各学校や家庭・地域との連携が弱いことから、学校との関わりがもてるよう充実を図る必要がある。

## 平成30年度の重点事項（案）

- 1 いじめや不登校、ネットトラブルの未然防止に向けて児童生徒が自ら考え、主体的に行動する年間を通じた取組の充実を図る
- 2 学校、家庭・地域、各関係機関等が連携して子どもを守り、育てる取組の改善・充実を図る



# 釧路管内地域いじめ問題等対策連絡協議会

## 平成29年度の重点事項

- いじめや不登校、ネットトラブルの未然防止に向けて児童生徒が自ら考え、主体的に行動する取組の充実を図る
- 学校、家庭・地域、各関係機関等が連携して子どもを守り、育てる取組の充実を図る

管内の現状

### いじめ

いじめの認知、解消の条件が変更になったことから、いじめの認知件数が大きく増加している。

### 不登校

昨年度と数値に大きな変化はないが、中学校時に増加する傾向がある。

### ネットパトロール

検出されたものは全て個人情報の公開であった。

【平成29年度の取組(平成29年度の重点事項に係る取組アンケートから)】

	学 校	市町村教育委員会	家庭・地域	関係機関
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒が考え、主体的に行動する取組について、概ね各校1つ以上の取組を推進し、児童生徒の意識の向上が図られている。</li> <li>○ 道徳の時間にいじめについて考える学校が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6市町村で「子ども会議」を実施している。</li> <li>○ 3市町で情報端末機器に係るアンケートを実施したり、教室を開催したりして児童生徒の意識等を把握している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 釧路市PTA連合会において、いじめや情報端末機器に関わる資料を作成し、周知している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒が社会教育に参加する機会の充実を図っている。</li> <li>○ 校内放送を活用した非行防止教室を開催し、ネットトラブル防止について啓発を図ることができた。</li> <li>○ 人権に係る取組を各学校に働きかけている。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒の主体的な取組がマンネリ化し、年間を通じた取組となっていないことから、いじめ防止未然防止プログラム等を作成し、継続した取組として児童生徒の意識をより高める必要がある。</li> <li>● 家庭や地域、関係機関との連携が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども会議については、実践発表が中心であり、各学校、保護者や地域へ普及・還元するに至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各家庭や地域によって温度差があることから、粘り強い取組が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各関係機関がそれぞれ取組を実施しているものの、各学校や家庭・地域との連携が弱いことから、学校との関わりがもてるよう充実を図る必要がある。</li> </ul>

## 平成30年度の重点事項(案)

- いじめや不登校、ネットトラブルの未然防止に向けて児童生徒が自ら考え、主体的に行動する年間を通じた取組の充実を図る
- 学校、家庭・地域、各関係機関等が連携して子どもを守り、育てる取組の改善・充実を図る

